

# 「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時：令和6年6月19日（水）

9:40～11:00

場 所：松江市立揖屋小学校

対 象： のはら1・2・3組10名

5年2組2名 計12名

指導者： のはら学級担任3名、介助員1名

古代文化センター職員2名

1 主題 古代の人々の生活（お金）について学ぼう。

2 ねらい

- ・ 和同開珎を制作する体験を通して、古代の人々の生活や技術に興味をもつ。

3 展開

時間	学習活動	指導者の支援	準備物
9:40～	児童代表挨拶	・ 児童の自己紹介及び講師の紹介。	
9:45～	見通しをもつ	・ 学習の内容やねらいを説明する。	・ 新聞紙 ・ 和同開珎セット
9:50～	古代のお金について知る	・ 和同開珎等について説明をする。	
10:10～	和同開珎を作ろう	・ 和同開珎の作り方、古代の技術について説明を聞く。  ・ 安全をよく聞き、安全に注意して活動できるよう促す。  ・ 溶けた材料の流し込みは大人が行う。  ・ 冷ましている間に質問があれば行う。トイレや水分補給をしても良い。	
10:45～	学習のまとめ	・ 質問や心に残ったことを発表したり、感謝の気持ちを伝えたりする。	感想用紙
10:50	児童代表挨拶		

4 準備物

（小学校）新聞紙、机を3グループにする。（できるだけ高さを合わせる。）

（古代文化センター）和同開珎作りキット、カメラ

5 その他

・ 9:15頃から古代文化センター職員が教室で準備。

・ 11:00頃から児童は別室で感想文を書き、職員は片付け。